

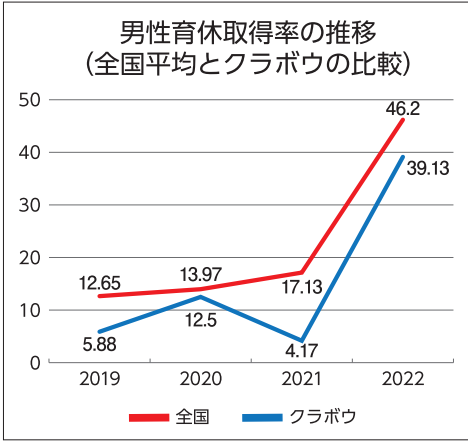


# 育児と仕事を両立する社員（パパ編）

男性育児の現状と、クラブウで仕事と育児を両立する社員をご紹介します！

## 男性の育児取得率

これまで大きな上昇がみられなかった日本の男性の育児取得率ですが、2022年の育児介護休業法改正施行等を受けて大きく上昇しました。



《2022年度》  
 育児取得率 … 46.2%  
 平均取得日数 … 46.5日  
 (令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査(厚労省))

## クラブウの男性育児休職制度

### ■育児休職

子が1歳に達するまで取得可能

- ・分割して2回まで取得可能
- ・父母共に取得する場合は、1歳2カ月まで延長可能
- ・保育所に入所できなかった等の特別な事情がある場合は、最長で子が2歳に達するまで延長可能

### ■出生時育児休職（通称：産後パパ育児）

子の誕生日から8週間以内の期間に、4週間まで取得可能

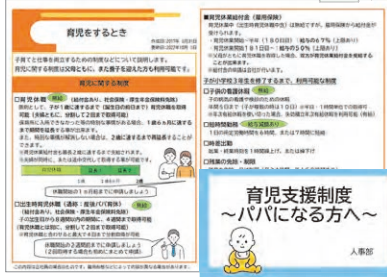
- ・育児休職とは別に、分割して2回まで取得可能

育児休職と合わせると、最大で4回まで育児休職の分割取得が可能です。



※その他、育児時短勤務・子の看護休暇等各種育児支援制度が利用可能です。もっと詳細を知りたいという方は、イントラネットに掲載の「制度活用ハンドブック」や「動画」をご覧ください。

※詳細は人事課または各事業所総務課にお問い合わせください。



## おさらい

クラブウでは、仕事と子育ての両立支援のため、2023年4月1日〜2025年3月31日の2年間の行動計画を策定しています。

## 次世代育成支援のためのクラブウ行動計画(第8次)

《目標》計画期間内に配偶者が出産した男性社員の育児休職取得率を30%以上とし、当社独自の育児を目的とした休暇制度（配偶者が出産するときの慶弔休暇のこと）と合わせた利用率を60%以上とする。

本計画の中で、男性の育児取得率については次のとおり目標を定めています。

## クラブウはくるみん認定を取得しています！

クラブウは、仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいる企業として、厚生労働大臣による認定「くるみん認定」を受けています。認定を受けると、「くるみんマーク」を広告や名刺につけてアピールできるほか、公共調達において加点評価を受けられるなど、有利になる場合があります。

今後は、「次世代育成支援のためのクラブウ行動計画(第8次)」の達成により、さら上位の「プラチナくるみん」認定取得を目指します。



次ページからは、2022〜2023年度に育児を取得したパパ社員の皆さんを紹介したいと思います！  
 また、次号では育児と仕事を両立する社員（ママ編）を掲載予定です。お楽しみに！

(人材開発課 河村 僚子 記)

……  育休取得社員紹介  ……



たかさき ゆうじ  
**高崎 雄二**さん

(環境メカトロニクス事業部 情報機器システム部 画像情報課)

家族構成：妻、子2人（2歳、0歳）

育休取得期間

2023年11月7日～2023年11月30日（23日）

• 育休を取得する際に、職場で気を付けたこと

育休取得すると決めてすぐに上司へ取得意向を伝え、その後、社内だけでなく取引先にも育休取得予定について知らせました。

• 育児・家事における分担等の家族のルール

明確に分けているわけではありませんが、基本は料理全般は妻、洗濯・食器洗い・ゴミ出しは私が担当して、掃除は気付いた方が行っています。

• 会社の育児支援制度を活用してよかったこと

毎日家族そろって晩ご飯を食べられたことと、平日に長男とゆっくり過ごす時間を持てたことです。

• 育休取得後の自身の変化

平日でもできるだけ家族と過ごす時間を持ちたいと思うようになりました。以前はキリの良い部分まで仕事をしてから帰宅していましたが、今は終わりの時間を決めて切り上げるようにしています。

• 育児と仕事の両立で、苦労している点

妻や子が体調を崩した時に予定のやり繰りがうまくいかず苦労しています。また、海外出張時は家を空けることになるので妻がワンオペになり、義母にサポートをお願いするのですが、互いの予定調整などがうまくいかず、難しいです。




• 育児と仕事の両立で、工夫していること

正直罪悪感がありますが、会社では上司や同僚、家庭では義母や実家、保育園など周りの人に積極的に頼ることで。また、在宅勤務やフレックス勤務など使える制度は積極的に利用しています。

• 育休を取得した際の家族からの言葉でうれしかったこと

育休が終わる際に、妻に「育休を取ってくれて本当に助かった」と言われた時は、思い切って取得して良かったと感じました。



育休中の1日のスケジュール 

6:30	起床・授乳	
7:30	長男起床、朝食、保育園送り	
10:00	沐浴、洗濯	
12:00	昼食	
15:00	買い物など	
18:00	保育園迎え	
19:00	夕食	
20:00	長男とお風呂	
23:30	授乳・就寝	



いりえ ひろゆき  
**入江 裕之**さん

(技術研究所 基盤技術グループ)

家族構成：妻、子1人（1歳）

育休取得期間

2022年7月25日～2022年10月15日（2カ月20日）



### ・育休を取得する際に、職場で気を付けたこと

配員の決定や仕事の引き継ぎでなるべくご迷惑を掛けないよう、早めに上司に連絡することを心掛けました。

### ・育児・家事における分担等の家族のルール

夫婦であまり分担をはっきり決めず、お互いの体調も考慮しながら、できることをできる方がするようにしています。そのためにも、お互いなるべくできない作業がないようにしています。

### ・会社の育児支援制度を活用してよかったこと

産後、妻の体調が良くなかったのですが、育休をいただけたおかげで妻のケアができました。また、最初にある程度育児に参加することで、育児への責任感を持てたと思います。育休の間に育児・家事のやり方のすり合わせもできました。

### ・育休取得後の自身の変化

仕事において、毎日しっかり計画を立てて、時間内に終わらせるという意識が高まったように思います。また、仕事の優先度を考えて、取捨選択をするようになりました。

### ・育児と仕事の両立で、楽しい点、苦労している点

時間の余裕が減ったため、広く情報を集める、資料の完成度を高めるなど、時間をはっきり決めずに行う仕事がしにくくなりました。忙しい毎日ですが、子どもの成長を見て癒やされています。

### ・育児と仕事の両立で、工夫していること

夕方の家事・育児が大変な時間に家にいられるように、早めに出社して早めに帰宅するようにしています。また、業務上問題がないときはなるべく在宅勤務にし、通勤分の時間を浮かせて育児・家事ができるようにしています。

### ・育休取得前に職場での言葉でうれしかったこと

約3カ月の育休を快く取らせていただき、大変助かりました。また、先輩方から体験談を聞かせていただいたり、「仕事のことは忘れて育児を楽しんで」など温かい言葉をいただいたりしてうれしかったです。

### 育休中の1日のスケジュール



6:00	起床	
6:30	朝食準備・朝食	
7:30	ゴミ捨て・洗濯・風呂掃除	
9:30	スーパーで買い物	
12:00	昼食	
14:00	沐浴	
16:00	洗濯物をたたむ	
18:00	夕食準備・夕食	
22:00	就寝	
	(その他、3時間おきに授乳と1-2時間おきにおむつ替え)	





やました のぶひろ  
**山下 展弘**さん

(鴨方工場 製造課)

家族構成：妻、子2人（3歳、0歳）

育休取得期間

2022年10月8日～2022年11月15日（1カ月7日）

### ・育休を取得する際に、職場で気を付けたこと

上司には半年前から取得の旨を相談しており、理解いただきました。お陰で引き継ぎなども最小限で済み、仕事が回るようになったと思います。

### ・育児・家事における分担等の家族のルール

育休中は妻の体力が低下したので、家事育児は一通りこなしました。復職後は便利家電を活用し、家事の負担を軽くして育児に専念できるようにしています。

### ・会社の育児支援制度を活用してよかったこと

出産後の育児に協力できたことと、上の子がさびしくないように遊ぶ時間がとれたことです。

### ・育休取得後の自身の変化

平日の家事・育児は妻が中心となりますが、休日は自分が中心となり妻がリラックスする時間を作ってあげたいと思うようになり、実践しています。

### ・育児と仕事の両立で、楽しい点、苦労している点

楽しい点は、日々できることが増えていく子どもの成長を見ることができること。苦労している点は、家族の体調管理です。子どもは風邪をひきやすいので、夫婦ともに感染しないように気を付けています。

### ・育児と仕事の両立で、工夫していること

仕事に家庭を、家庭に仕事を、それぞれ持ち込まないように切り替えをしています。





### ・育休取得後に職場での言葉でうれしかったこと

復職後に職場の同僚からは「お帰り、また頑張ろう」と言っただき職場にスムーズに戻れたことと、妻からは「育休を取得して、周りのことも進んでこなしてくれてありがとう」と言われたことです。



### 育休中の1日のスケジュール



7:00	起床	
7:15	登園準備	
7:30	朝食	
8:30	上の子を保育園に送る	
11:00	買い物	
11:15	昼食準備・昼食	
12:00	沐浴	
13:00	リラックスタイム	
15:00	上の子の保育園迎え・公園で遊ぶ	
17:30	夕食準備・夕食	
19:00	お風呂	
20:00	子どもと遊ぶ	
20:30	就寝	



みね かずき  
**峰 和希**さん

(熊本事業所 技術課)

家族構成：妻、子1人（0歳）

育休取得期間

2023年 9月1日～2023年 9月30日（29日）

2023年11月6日～2023年11月17日（11日）



### ・育休を取得する際に、職場で気を付けたこと

できるだけ早く上司には連絡するようにしました。引き継ぎについても、育休中に後任の方が困らないようリストを作って行きました。

### ・育児・家事における分担等の家族のルール

育休中は、妻が授乳・炊事を担当し、私がその他買い出し・掃除・洗濯・おむつ交換・寝かしつけを担当していました。

夜間、なかなか寝ない日が続いた時には苦労しました。

### ・会社の育児支援制度を活用してよかったこと

子どもとの時間をたくさん取れたことです。

生まれる前から育児のイメージはしていましたが、実際はもっと大変でした。

身をもって実感したため、復職後も自分が積極的に育児に関わる必要性を感じました。

### ・育休取得後の自身の変化

復職後、育児のためにできるだけ決まった時間に帰るようにしています。朝に、その日に終わらせなければいけない業務を抽出し、仕事の順序や時間内に効率良く仕事ができるように見直しました。

### ・育児と仕事の両立で、楽しい点、苦労している点

仕事終わりに子どもと目が合って笑う姿を見ると元気が出てきます。いつも私がお風呂に入れているのですが、帰宅が夜遅くなってしまうと、既に寝てしまっているの、寝顔しか見られない日もあり、少し

悲しいです。また、一番苦労したことは、仕事後の生活リズムを構築することです。



### ・育児と仕事の両立で、工夫していること

仕事の日と休みの日で家事の分担を分けています。また、帰る時間がばらばらだと生活リズムができないので、できるだけ決まった時間に帰るようにしています。

### ・育休取得前に職場での言葉でうれしかったこと

2回に分けて合計1.5カ月という長期の育休を快く了承していただき、大変ありがたかったです。復帰後も早く帰るように声掛けしていただき、気を使っていたことがうれしかったです。

### 育休中の1日のスケジュール



8:30	起床	
9:00	朝食準備・朝食	
10:00	掃除・ごみ捨て	
11:00	洗濯・取り込み	
12:00	昼食準備・昼食	
13:00	外出（買い物等）	
18:00	夕食準備・夕食	
19:00	お風呂	
21:30	就寝	



## 今年もファザーリング・スクールが開催されました！

NPO法人ファザーリング・ジャパンが主催するファザーリング・スクールが今年度も開催され、クラブハウから子育て社員が参加しました。

### ■ファザーリング・スクールとは？

母親に比べ、子育てについて学んだり、ネットワークを構築したりする機会が少ない父親同士の、つながりづくりや知識獲得の場となるよう開講されるスクールです。

ファザーリング・スクールクラス	講義内容			
	第1回	第2回	第3回	第4回
①妊娠・出産前クラス	"産前産後"のママのカラダとココロの変化をシェアしよう	"妊娠中"から"出産後"に備える「夫婦のパートナーシップ」と「育休プロジェクト」	夫婦で出産を分かち合うために"今"できること	修了式 ・ 交流会
②乳児期クラス	感情的にならない子育て～子どもを育む！子どもとの向き合い方	夫婦のパートナーシップを考えよう！	"チームわが家"令和時代の両立戦略	
③イヤイヤ期クラス	みんなのイヤイヤあるあるを共有しよう	イヤイヤにイライラしない！笑顔で過ごせるように	保育士に教わる！2歳児とのかかわり	
④思春期クラス	思春期ってなに？	学校に行けない子どもたち	パパはメンター～子どもの自立に向けて～	
⑤家族経営 <b>NEW!</b>	もっと知ろう！お互いの身体のこと心のこと	どうする？どうした？夫婦のギクシャク期	お互いの「やりたいこと」を叶え合う家族の選択肢	
上記の講義内容 + クラブ活動(どれか一つを選択) ・段ボール・絵本あそび・マジック・料理・風船				

### ■ファザーリング・スクール（思春期クラス）に参加した 繊維事業部 ユニフォーム部 ユニフォーム課 おざわ たかし 小澤 貴志さん

思春期の息子たちとの家庭での在り様を、講師や参加されている仕事と子育てを両立しているパパ友の皆さまから学びたいと思い、参加しました。

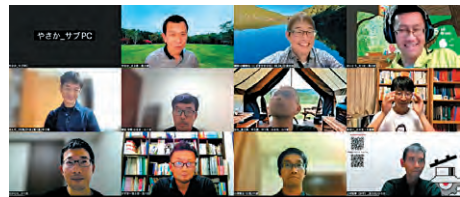


### ●スクールの内容で印象的だったこと、実践していることは？

スクールで習った子育て4訓です。①乳児はしっかり肌を離すな ②幼児は肌を離せ、手を離すな ③少年は手を離せ、目を離すな ④青年は目を離せ、心を離すな ④の心を離すな、が印象的でした。子育ての目的は「子どもが自立した社会人になるため」を忘れずに、子どもをコントロールするような過干渉にならず、子を信頼して「待つ」ことができるように実践しています。

### ●スクールの他参加者から学んだこと、刺激を受けたことは？

お子さんの不登校や思春期・反抗期を経た先輩方の体験談から、経済面や地域での社会的支えの仕組み等を学びました。これまで知る機会があまりなかったため、とても参考になりました。



### ●育児において心がけていることは？

子どもにとって社会への窓である私（親）自身が仕事の充実度をより一層高めるとともに、仕事内容ややりがい、ニュースについて子どもと一緒に語り合う、地域コミュニティとの関わりと一緒に参加するなど、子どもが社会（他の大人）との関わりを持てるようにしていきたいです。また、家庭を大切にし、笑顔のある生活をおくる「笑っている親でいること」を心がけています。

